



IAF活動報告：第17回合同総会

2017年10月21-31日(バンクーバー)

2018年1月22日
公益財団法人 日本適合性認定協会
認定センター

報告項目

- IAFの活動
- MLA(相互承認 Multilateral Recognition Arrangement)
- 2017 IAF総会報告～総会、TC(技術委員会)

IAF (International Accreditation Forum)

- 1993年発足
- 適合性評価を認定する機関および関係機関の国際組織
- マネジメントシステム認証、製品認証、要員認証、GHG妥当性確認/検証等の分野を取り扱う。
- 目的
 - 業務にふさわしい能力を持ち、利害の抵触がない認証機関のみを認定する。
 - 認定機関間の技術的レベルを整合し、相互承認 (MLA)を行う。

IAFメンバー

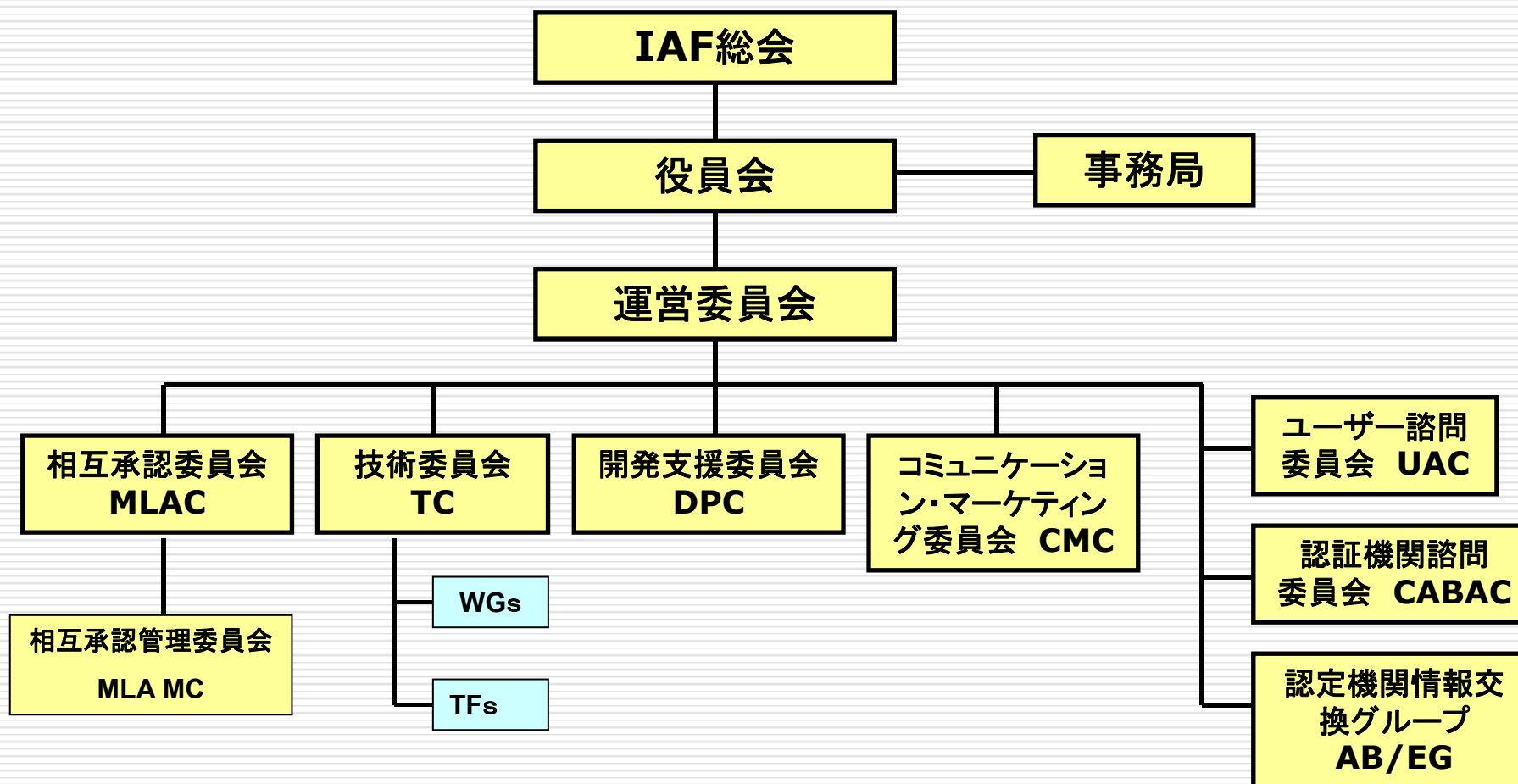
- 6地域グループ
 - AFRAC(アフリカ)、ARAC(アラブ諸国)、IAAC(南北アメリカ)、EA(ヨーロッパ)、PAC(太平洋地域)、SADCA(南アフリカ)

- 認定機関メンバー
 - 75機関
うち66機関がIAF MLAメンバー(ブルガリア、イランが新規)

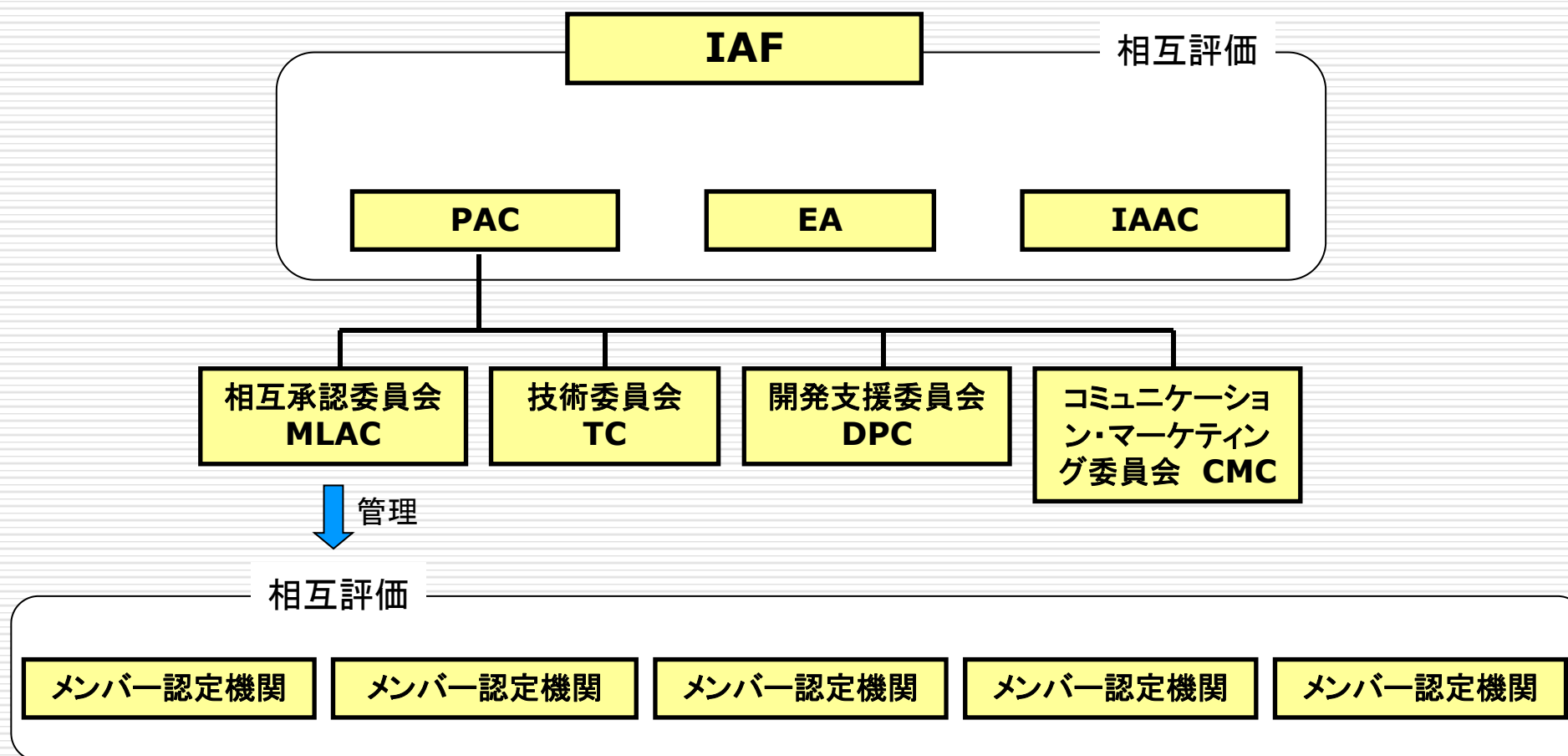
- 関連団体メンバー
 - 19機関(認証機関、産業団体、スキームオーナー等)

- 協力関係: ISO、ILAC(国際試験所認定協力機構)など

IAFの組織構造



IAF及び地域グループによる相互承認



IAF MLAの区分(相互承認Multilateral Recognition Arrangement)



レベル1	認定機関に対する要件: ISO/IEC 17011及びIAF指針	認定業務が、互いに 同等
レベル2	認定活動の種類: 認証機関(MS、製品、要員、GHG 妥当性確認/検証)、検査機関など	Peer Evaluationで 評価
レベル3 メインスコープ	適合性評価機関に対する要件: ISO/IEC 17021- 1(MS)、ISO/IEC 17065(製品)、ISO/IEC 17020(検査)、ISO/IEC 17021(MS)、ISO/IEC 17024(要員)など	認証機関としての能 力が同等に信頼でき る (Equally Reliable)
レベル4 サブスコープ	分野特有の規格: ISO/IEC 17021-2(EMS)、 ISO/IEC 27006(ISMS), ISO/TS 22003(FSMS)など	
レベル5 サブスコープ	適合性審査に用いられる規格: ISO9001, ISO14001, ISO13485, ISO 22000, ISO/IEC27001, 製品規格(Global Gap等)など	認証が同等である (Equivalent)

IAF MLAの範囲

	認証のタイプ			
	マネジメントシステム	製品認証	要員認証	GHG妥当性確認/検証
メインスコープ (レベル3)	ISO/IEC 17021-1	ISO/IEC 17065	ISO/IEC 17024	ISO 14065
サブスコープ (レベル5)	ISO 9001 ISO 14001 ISO 22000 ISO/IEC 27001 ISO 13485 ISO 50001 FAMI-QS	Global G.A.P.	IPC	N/A

IPC:International Personnel Certification Association

IAF総会(2017年)での主な決議事項

□ IAF MLA 範囲の拡大

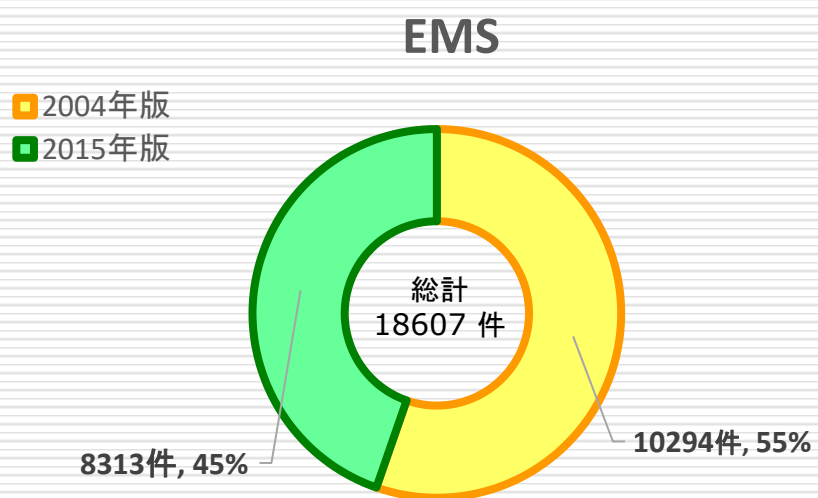
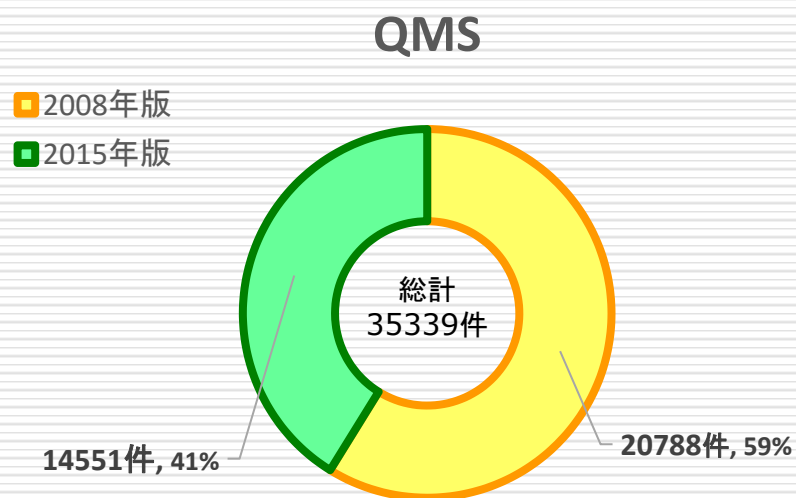
- FAMI-QSがマネジメントシステム認証のサブスコープとして承認
- IPCが要員認証のサブスコープとして承認
- GFSIとのMoU締結
GFSI承認スキームをMLA対象とするかどうか、簡便に評価することができるようになる

IAF総会での主な決議事項

- ISO 9001/14001:2015への認証の移行
 - 認定を受けたISO 9001/14001認証の2015年版への移行は2018年9月15日までに終了
 - 2018年3月15日以降に実施するISO 9001/14001の全ての初回、サーベイランス及び再認証の審査を2015年版で実施しなければならない

2017.12.31集計	ISO 9001	ISO 14001
IIOC	34.90%	37.65%
ACCREDIA	24.00%	27.66%
CNAS	44.39%	41.61%
JAB	45.61%	42.26%
JAS-ANZ	45.24%	43.92%

ISO 9001/14001:2015への認証の移行状況



2018.1.1現在

IAF総会での主な決議事項

- 認定範囲内での非認定認証の禁止
 - 2015年総会
MS認証に対し認定範囲内での非認定認証を禁止
 - 2016年総会
認定されたMS認証と非認定のMS認証を区別するために、MSの認証書には認定シンボルを付けるか認定状態が参照されること
 - 2017年総会
認定された要員認証に対し同様の決議が行われ、非認定認証の禁止及び認定シンボルの使用が要員認証に拡大

IAF総会での議論

- 認定を受けたマネジメントシステム認証のデータベース
 - ISOにおけるデータベース作成計画が中止
 - IAFがDMCを設立して計画を引継ぎ推進
 - 専門のコンサルタントを雇って詳細検討を推進
 - ユーザーにとって大きなメリットをもたらす
信頼性向上、認証組織間ビジネス契機、コスト削減
 - ISO/TC 176、QuEST Forum、IAQGなど
様々なユーザーや産業団体もサポートを表明

DMC: Database Management Committee

IAF TC (技術委員会)

□ 活動

- IAF文書の開発/維持/改訂を行う。適合性審査を一貫性のあるものにすることを目的
- 必要なIAF文書を開発するために、関連する利害関係者のグループを形成する
- IAF外での認定規格やその他類似文書の開発をモニターし、IAFとして考慮あるいは開発に参加するかどうかを決める
- IAF相互承認の運用から生じた問題を含め、IAF文書の適用に関する推奨を行う

□ 年2回開催

- 総会開催時およびTC会議のみ
- タスクフォース/ワーキンググループ会議および全体会議

主なワーキンググループ(WG)

□ WG

- マネジメントシステム認証(ISO/IEC 17021)
- 製品認証(ISO/IEC 17065)
- 要員認証 (ISO/IEC 17024)
- 森林認証
- ISMS (ISO/IEC 27001)
- ITSMS (ISO/IEC 20000)
- ISO13485(医療機器QMS)
- 食品
- GHG及びエネルギー
- 認定機関の一致

主なタスクフォース(TF)

□ TF

- サンプルングが適用されない複数サイト認証
- 認定審査員の力量
- 認定審査工数を決定する原則
- 認定を受けた認証機関に代わり運用を行う組織
- セクター固有の認証プログラム
- 偽認証
- OHSAS 18001からISO 45001への移行

TCでの主な議論： IAF文書の見直し

- IAF文書の見直しを進行中
- 主要なMD文書
 - MD1(複数サイトサンプリング)
 - これまでのMD1とMD19合体(2018年3月までに発行予定)
 - MD4(CAAT)
 - 最新技術を考慮(改訂案コメント募集)
 - MD11(統合審査)
 - 統合審査アプローチ(標準/Extended audit approach)による審査工数削減を考慮(改訂検討)
 - MD16(FSMS)
 - サーベイによるコメント対応(2018年4月に改訂提案)

TCでの主な議論： IAF文書の見直し

- MD1改訂(2018年3月までに発行予定)、MD19廃止
 - これまでのMD1とMD19を統合
 - 仮想サイトの定義について、MD5と定義が異なる点を整理
 - サイトサンプリングを用いた/サイトサンプリングが適切ではない/複数サイト組織の審査手順/サンプリング可能なサイトとサンプリングできない他のサイトの組み合わせを含む複数サイト組織の審査手順を規定

IAF MD1:201X

複数サイトの組織が運用するマネジメントシステムの審査及び認証のためのIAF基準文書

IAF MD19:2016

複数サイトの組織(サイトのサンプリングの適用が適切でない組織)が運用するマネジメントシステムの審査及び認証のためのIAF基準文書

TCでの主な議論： IAF文書の見直し

- MD4改訂(改訂案コメント募集)
 - 文書のスコープについては、認証審査に加え、認定審査を対象とする
 - 文書タイトルを変更
”Use of Information and Communication Technology (ICT) for Auditing/Assessment Purposes”
- MD11改訂(改訂検討)
 - 統合レベル、効率的な審査の実施による審査工数の削減率のための審査アプローチについて議論

IAF MD4:

認定されたマネジメントシステム認証のためのコンピュータを使った審査技法(“CAAT”)利用のためのIAF 基準文書

IAF MD11:

統合マネジメントシステムの審査における JIS Q 17021 適用に関する IAF 基準文書

TCでの主な議論： 製品認証WG

- MD4(CAAT)適用
 - 現在TFメンバーにMD案を回覧中
 - 2018年1～2月にコメントを集める予定

TCでの主な議論： GHG及びエネルギーWG

- ISO 50001:2018改訂
 - 移行期間3年間
 - 認定機関
 - 規格発行後、6か月以内に改訂規格に対する移行審査を実施するよう準備
 - 認証機関
 - 規格発行後18か月以内に、初回、サーベイランス審査、再認証を含め、ISO 50001:2011審査を停止
 - すべてのISO 50001:2011認証は、移行期間の終了までに、終了または取り消し

TCでの主な議論： GHG及びエネルギーWG

- ISO 14064-1:2018、ISO 14064-2:2018改訂
 - 移行期間3年間
 - 認定機関
 - 規格発行後、6か月以内に改訂規格に対する移行審査を実施するよう準備
 - 妥当性確認・検証機関
 - 規格発行後、3年以内に認定に対する移行を完了

TCでの主な議論： 食品に関するWG

- ISO/TS 22003、IAF MD16改訂(改訂案コメント募集)
 - サーベイ結果検討
 - 2018年に改訂版を発行予定
 - 移行期間3年
 - 移行に関する参考文書(IAF ID)作成予定

IAF MD16:2015

Application of ISO/IEC 17011 for the Accreditation of Food
Safety Management Systems (FSMS) Certification Bodies

ID:Informative Documents

TCでの主な議論： OHSAS 18001からISO 45001への移行

- ISO 45001発行
 - 2018年3月発行予定
 - 移行期間3年間
- ISO/IEC TS 17021-10
 - ISO 45001と同じタイミングで発行予定
- IAF基準文書
 - OHSAS Project Groupが作成した移行文書 (migration document)をもとにIAF MDを作成
 - ISO 45001と同じタイミングで発行予定